

日本共産党
参議院議員

紙 智子

国会報告

コロナ禍、いのちと暮らしを第1に力を尽くす!



新型コロナウイルス感染症で、経済・いのちの格差が拡大するなど、かつてない危機に直面しました。国民の苦難に寄り添い語る言葉を持たない安倍総理。政治や社会のあり方の根本が問われている今こそ、いのちと人々の尊厳が大切にされる社会、政治への転換めざし、力を尽くします。



はたやま和也前衆院議員と政府要請=3月12日



北海道労働組合総連合と懇談=3月14日



北海道勤医協役員と懇談=7月10日



北海道中小企業家同友会と懇談=3月14日

「緊急事態宣言」が全国より早かった北海道のダメージは深刻です。観光業、札幌市医師会をはじめ 22 団体と懇談をかさね政府に要請しました。

苦難に寄り添い政府にせまる!

コロナ禍、戦後かつてない重大な危機からいかにして国民の命と暮らしを守りぬくかが、最大の課題になっています。

紙議員は通常国会で委員会のたびに対策を求め、その数は14回になります。

安倍総理が決めた学校の一斉休校。給食食材のキャンセルで納入業者から悲鳴があがりました。総理の独断だから政府が責任を持ち、業者と農家の経営と生活を守れと迫りました。3月の学校給食食材費は例年約300億円です。しかし、補償されたのは7月末でもわずか48億円です。「質問で励まされた。泣き寝入りはしない」と運動が続いています。飲食店の自



全国食健連などの給食食材費の補償を求める大臣要請=3月6日

粛で和牛価格が下落したのに、牛肉の輸入が増加。和牛生産者を支援するとともに輸入を国産に置き換えるよう求めました。魚価低迷に苦しむ沿岸漁業者、中小企業、観光業、雇用、医療介護など、苦難に寄り添うよう政府に迫り、不十分ながら持続化給付金、1人10万円の給付、雇用調整助成金の拡充、家賃補助が実現しました。

「攻めの農政」から 「人と環境にやさしい農政」へ

安倍政権が発足して7年、農業と農村の衰退に拍車をかける暴走政治。食料自給率は史上最低の37%。紙議員は、食料農業農村基本計画が安倍政権下で当初の理念から変質しつつあると告発し、食料自給率を抜本的に向上させるとともに、計画に国連「家族農業10年」を位置づけ、「攻めの農政」から「人と環境にやさしい農政」への転換を求めました。林業では大規模伐採、皆伐型林業から自伐型林業を重視するよう求め、漁業では新漁業法の説明会は20回程度と少なく議事録も作成されていないことを明らかにしました。



家族農林漁業プラットフォームジャパン=1月31日

汚染水の海洋放出やめよ！ 農地汚染調査、在宅被災者支援を求める

農林漁業団体はもとより福島県議会や県内21市町村議会が汚染水の海洋放出に反対・慎重な対応を求める意見書、決議を可決しました。紙議員は海洋放出はやめるよう強く求めました。また、農地の放射能汚染について農水相は経年変化を検証・分析すると答弁。内閣府は在宅被災者支援のあり方を見直すと答えました。



経済産業省へ申し入れ=7月27日



アイヌ新法から1年、 先住民族宣言の具体化を

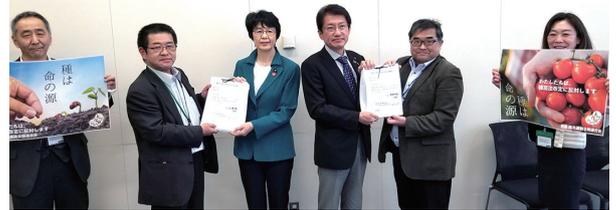
アイヌ施策推進法(アイヌ新法)が成立して1年。「先住権」を認める「先住民族の権利に関する国際連合宣言」のさらなる具体化を求めました。アイヌ民族の参加と意見を反映するよう求めたところ、意見が反映されない「アイヌ施策推進地域計画」は認められないと答えました。



ウポポイで真下道議と
=7月11日

種苗法改正案の審議入りを断念！ 共同の大きな成果！

国際的に認められている農家の自家増殖の権利を奪う種苗法改正案に反対するツイッターデモが広がり、請願署名も23,927名提出、審議入りを断念させました。家畜伝染病の予防を口実に豚・牛の放牧を禁止する方針案も撤回させました。市民と野党の共同の大きな成果です。



全国農民連から種苗法改正中止の要請=4月8日

沖縄の子ども命を守れと迫る

紙議員は、沖縄・北方特別委員会で日米地位協定があるために2017年緑ヶ丘保育園(宜野湾市)に落下した部品落下事故の捜査は依然進まず、小中学校の入学式でも米軍機が学校上空を飛行する異常な状態が続いていると追及しました。

北海道新幹線のトンネル残土処理は 住民の理解なしに進められない

北海道新幹線の北斗から札幌間は8割がトンネルです。ヒ素などの有害物質を含むトンネル残土処理が問題になっています。残土が発生した自治体が受け入れるルールはなく、赤羽一嘉国交相は「地元の住民の皆様のご理解が得られない中での



調査の実施は困難である」と答えました。鉄道運輸機構は住民への説明責任と情報公開が求められます。

残土問題の緊急集会=7月19日

コロナ禍、八雲病院の大移送計画は中止を

国立病院機構は、200名もの筋ジストロフィー患者、重症心身障害者を国立八雲病院から245キロも離れた札幌市に8月に移送する計画を進めています。紙議員は、コロナ禍、患者家族から「子どもの命を軽視していると思えない」との声が上がっていると中止・延期するよう求めました。



料理研究家の枝元なほみ氏と対談=6月9日



昨年の台風19号被害を受けた宮城県丸森町調査=2月22日



ジェンダー4署名提出行動=5月28日